

基本目標Ⅰ

男女共同参画社会を形成するための意識改革

重点目標 1 男女共同参画の視点に立った社会慣行の見直しと意識改革

現状と課題

- 誰もが、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を実現するためには、性別による固定的な役割分担意識に基づく社会慣行を見直すとともに、男女平等意識を高める等の意識改革を推進することが重要です。

「平成 27 年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査」によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に肯定的な人は約 4 割と依然として高く、また、家庭、地域、職場等においても「男性優遇」であるとの回答が約半数を占めています。こうした役割分担意識等を解消し、男女共同参画社会の実現を図るため、広報・啓発活動を積極的に展開する必要があります。

- また、メディアから大量に発信される情報は、人々の意識形成にさまざまな形で影響を与えており、テレビ、インターネット等の様々なメディアにおける性・暴力表現について問題があると考える人は 73.8%に上ります。

このことから、メディアから発信される情報については、女性や子ども等の人権を侵害する表現をなくすようメディアに対して働きかける必要があると同時に、情報の受け手に対しては、情報を主体的に選択し、判断する能力を向上させる取り組みを行っていく必要があります。

施策の方向

(1) 県民の理解を深めるための広報・啓発の充実

性別による固定的な役割分担意識の解消や男女共同参画意識の普及のため、様々な機会や媒体を利用して、積極的に広報・啓発を行います。

(2) メディア情報に対する取り組みの推進

メディアからの情報について、主体的に考えて判断する能力を向上させるための教育や啓発を行います。

重点目標2 男女共同参画を推進する教育・学習の充実

現状と課題

- 男女共同参画についての県民の理解を促すためには、教育・学習の充実を図る必要があります。「平成27年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査」によると、男女の地位についての社会全体における認識は、前回の調査と同様、男性優遇とする割合が高く、男女平等の理念を推進する教育・学習の一層の充実を図る必要があります。
- また、男女共同参画推進に関する取り組みは、女子差別撤廃条約をはじめとする国際社会における様々な取り組みと密接な関連があります。このため、国際社会における男女共同参画の取り組みについて、幅広く県民の理解を深めるための情報提供を行う必要があります。

施策の方向

(1) 学校における教育・学習の充実

次世代を担う子どもたちが人権の尊重や男女平等、男女の相互理解と協力の重要性について理解を深め、性別にとらわれることなく長期的展望に立って将来設計を行えるような教育を推進します。

(2) 生涯にわたる学習活動の推進

誰もが個性と能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画できるよう、様々な学習機会や情報の提供に努めます。

(3) 女性のための学習支援の充実

女性が自らの意識と能力を高め、力をつけていくための学習機会の充実を図り、社会のあらゆる分野で活躍できるよう支援します。

(4) 多様な文化に対する理解促進

国際社会における男女共同参画に関する取り組みの情報の提供を行うとともに、国際的な視点から男女共同参画への理解を深めます。